1-9 主な部品の交換方法

日々の作業を安定して能率的に行うために、作業前・作業後のメンテナンス・早い時期の消耗部品の交換をお勧めいたします。
以下の「1-9 消耗部品の交換方法」をよくお読みいただき、正しく作業を行ってください。

⚠ 警告 消耗部品の交換やメンテナンスの時は、必ず電源プラグを手で持ってコンセントから抜いてから行ってください。プラグを差し込んだまま作業を行うと感電する危険性があります。

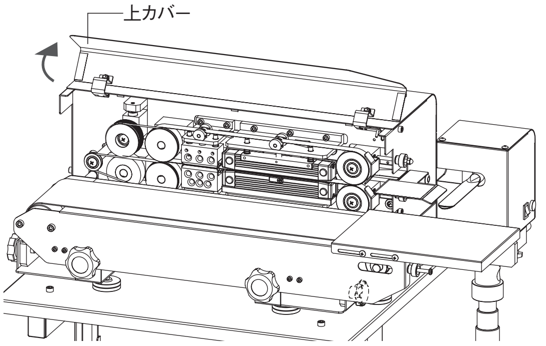
⚠ 警告 取扱説明書に記載されている「消耗部品の交換方法」以外の間違った方法で交換すると機械が正常に働かないばかりか、感電や火傷をする危険性があります。

⚠ 警告 消耗部品は必ず弊社指定の部品をご使用ください。指定外の部品を使用されると製品の性能が正しく発揮できないだけでなく、故障の原因にもなります。

必ず電源プラグをコンセントから抜いて作業を行ってください

部品交換の準備

以下で説明する主な部品の交換作業をされる時は、作業前に製品の上カバーを上に上げてから行ってください。

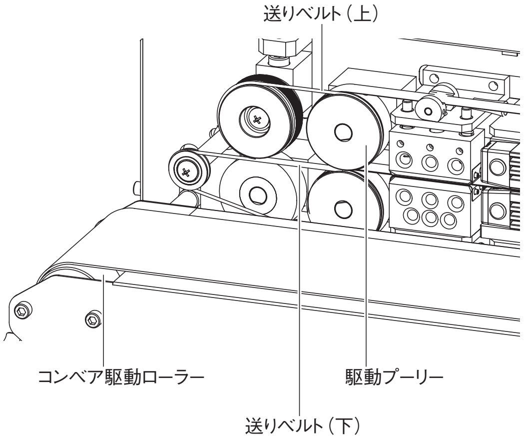


1-9-1 送りベルト上・下の交換

- コンベア駆動ローラーを手で回すと駆動プーリーが回転します。
  駆動プーリーを回転させながら、送りベルトを外側に引くようにすると送りベルトが外れます。

- 取り付ける際もコンベア駆動ローラーを手で回わしながら駆動プーリーに送りベルトを取り付けてください。

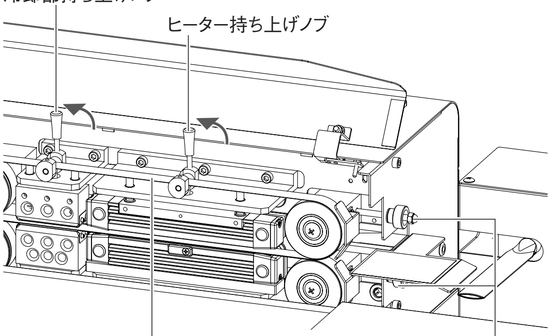
⚠ 注意 ローラーに指を巻き込まれないように注意して作業を行ってください。



1-9-2　シールベルトの交換

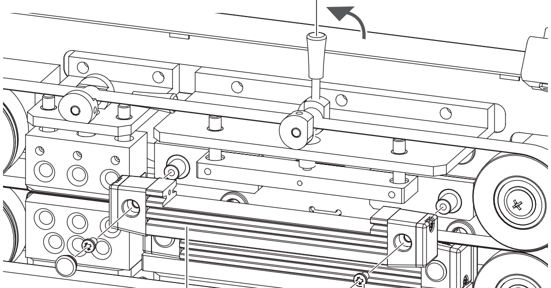
1　「1-9-1 送りベルト上・下の交換」の手順で送りベルト上・下を外してください。
2　シールベルト引っ張りノブを左へ回し、シールベルトを緩めてください。
3　ヒーター持ち上げノブ、冷却部持ち上げノブを起こしてください。
4　シールベルトを外してください
5　新しいシールベルトを付けてください。
6　シールベルトが滑らないところまで上下のシールベルト引っ張りノブを右へ回してください。
7　3 で起こしたヒーター持ち上げノブ、冷却部持ち上げノブを倒してください。
8　送りベルト上・下を取り付けてください。

注！　シールベルトを引っ張りすぎるとシールベルト切れの原因になります。



1-9-3　上ヒーターユニットの交換

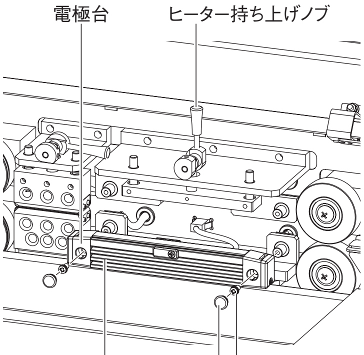
1　ヒーター持ち上げノブを起こし、上ヒーターユニットを上げてください。
2　電極台ゴムブッシュを外してください。
3　プラスドライバーで電極台を固定しているビスを外してください。
4　上ヒーターユニットを手前に引き出して、外してください。
5　新しいヒーターユニットを取り付け、3 で外した電極台を固定しているビスを締めてください。
6　2 で取り外した電極台ゴムブッシュを付けてください。
7　1 で起こしたヒーター持ち上げノブを元の位置まで倒してください。



1-9-4　下ヒーターユニットの交換

1　「1-9-3 上ヒーターユニットの交換」の手順で上ヒーターユニットを外してください。（下ヒーターユニットを交換する時は、上ヒーターユニットを取り外す必要があります）

2　下ヒーターユニットの電極台ゴムブッシュを外し、電極を固定しているビスを外してください。



3　下ヒーターユニットを手前に引き出して、外してください。

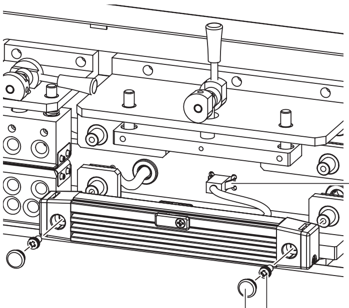
4　温度センサーのコネクターを外します。

5　新しい下ヒーターユニットの温度センサーのコネクターを装着してください。

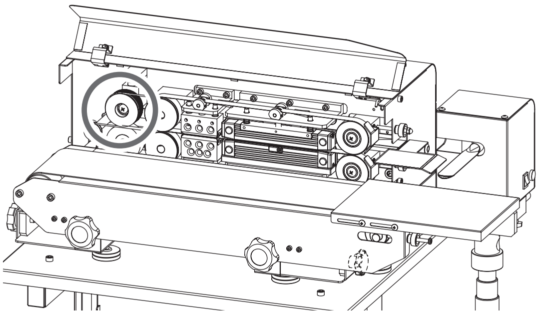
6　下ヒーターユニットを取り付け、2 で外した電極を固定しているビスを締めます。

7　2 で取り外した電極台ゴムブッシュを付けてください。

8　「1-9-3 上ヒーターユニットの交換」の手順で上ヒーターユニットを取り付けてください。

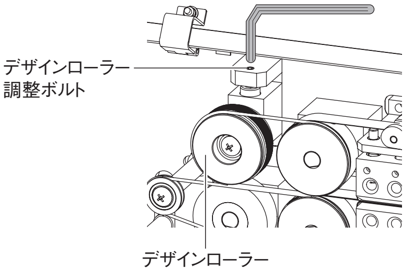


1-9-5　デザインローラーの交換

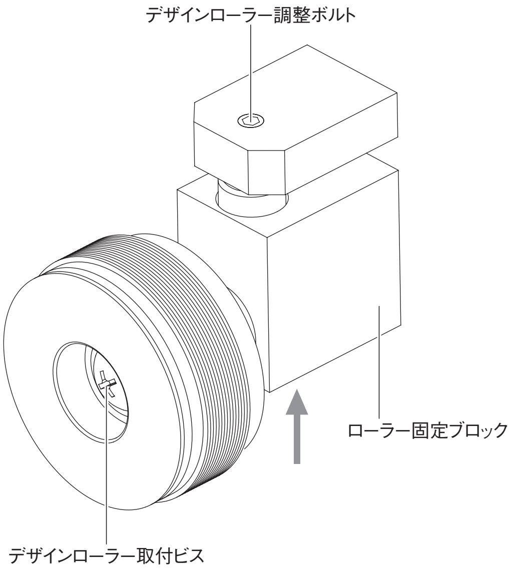


1　「1-9-1 送りベルト上・下の交換」をご覧いただき、送りベルト（上）を外してください。

2　六角レンチでデザインローラー調整ボルトを緩めてください。

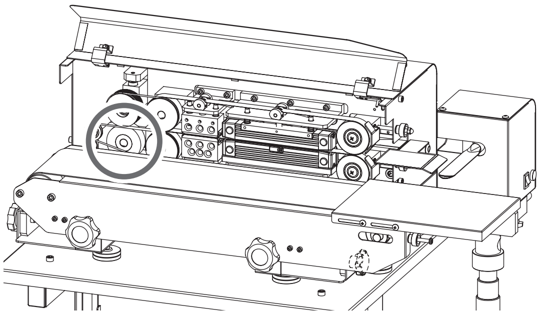


3　デザインローラー取付ビスを外し、ローラー固定ブロックを少し持ち上げてデザインローラーを外してください。
4　ローラー固定ブロックを少し持ち上げて、交換するデザインローラーを取り付けてください。
5　デザインローラー取付ビスを締めて固定してください。
6　1で外した送りベルト（上）を付けてください。
7　2で緩めたデザインローラー調整ボルトを六角レンチで締めてください。

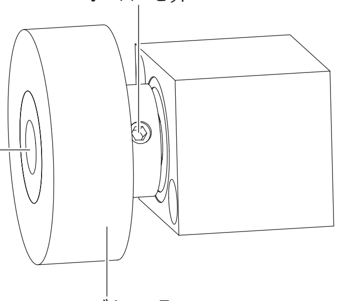


注！　デザインローラーを交換した場合、デザインローラーの圧力調整をする必要がありますので「1-10-5 デザインローラーの調整」をご覧いただき、調整を行ってください。

1-9-6　ゴムローラーの交換



1　「1-9-1 送りベルト上・下の交換」をご覧いただき送りベルト(下)を外します。
2　デザインローラー調整ボルトを緩めてください。(「1-9-5 デザインローラーの交換」をご覧ください)
3　コンベア前後調整ノブを緩めて、コンベア台を少し手前に移動させてください。(「1-10-1-2 コンベア前後の調整」をご覧ください)



4　ゴムローラーの取付ホーローセットを緩めて、デザインローラーの固定ブロックを少し持ち上げながらゴムローラーを外してください。
5　デザインローラーの固定ブロックを少し持ち上げながら新しいゴムローラーをシャフトに差し入れて、4 で緩めたホーローセットを締めてください。
6　1 で外した送りベルト(下)を付けてください。
7　2 で緩めたデザインローラー調整ボルトを「1-10-5 デザインローラーの調整」をご覧いただき、六角レンチで締めてください。

1-10 各部の調整方法

1-10-1　コンベアの位置調整

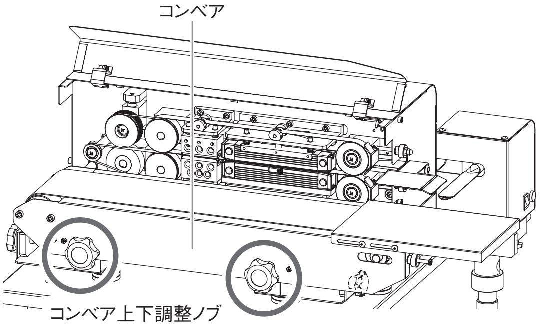
■ 1-10-1-1　コンベア上下の調整

1　コンベア上下調整ノブを回し、上下を調整します。

2　ノブを緩めると上に上がってきます。

3　ご希望の高さに調整します。

4　調整後はノブを締めて固定します。



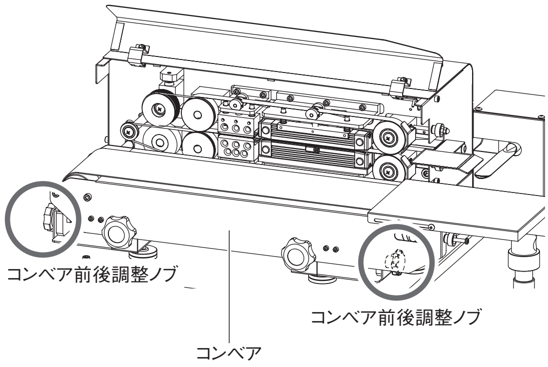
■ 1-10-1-2　コンベア前後の調整

1　コンベアを上に上げると作業が容易になります。「1-10-1-1 コンベア上下位置の調整」をご覧いただき、必要に応じてコンベアを上に上げてください

2　コンベア前後調整ノブを緩め、コンベア台をご希望の前後位置に調整します。

3　調整後はノブを締めて固定します。

4　1で上に上げたコンベアの上下位置を調整してください。

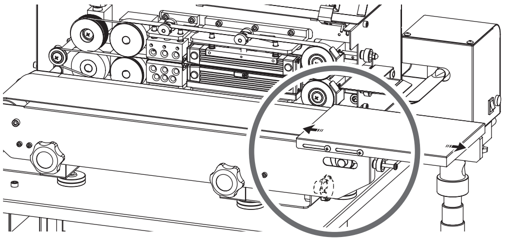


1-10-2　作業テーブルの位置調整

1　作業テーブルを固定しているビス3カ所を緩めます。

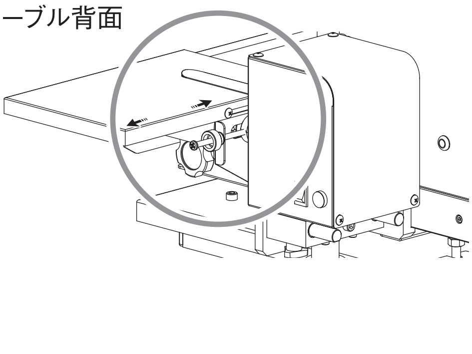
■ 作業テーブル前面：2箇所

作業テーブル前面



■ 作業テーブル背面：1箇所

作業テーブル背面

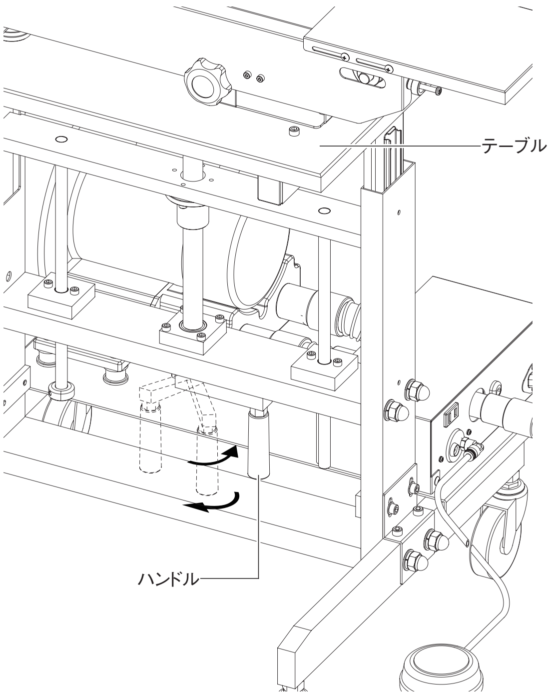


2　作業テーブルをご希望の位置にスライドさせ、調整します。

3　1で緩めた3本のビスを締めて作業テーブルを固定します。

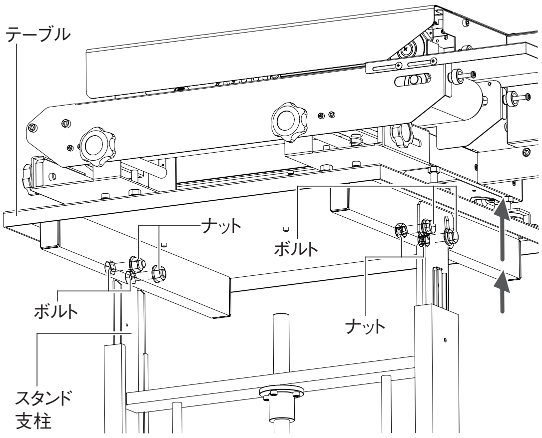
1-10-3 テーブルの高さ調整

スタンド下部のハンドルを回すとテーブルの高さを変更することができます。



1-10-4 テーブルの傾斜角度調整

テーブルは最大で約 20°まで傾斜させることが可能です。



⚠ 注意 テーブルの傾斜角度の調整を行う時は、必ず二人以上で作業を行い、一人がテーブルを支えた状態で行ってください。

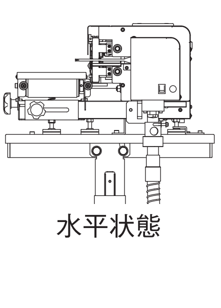
⚠ 注意 テーブルの傾斜角度の調整を行う時、スタンド支柱の固定ボルト周辺に手をかけないでください。手や指を挟むと怪我をする恐れがあり、たいへん危険です。

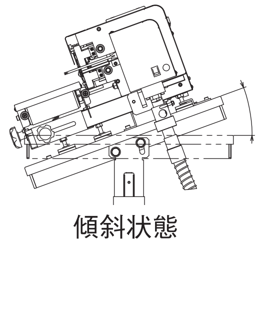
1 スタンド支柱とテーブルを固定しているナット（4 箇所）を緩めます。

注！ ボルトが脱落しないよう、ナットの緩めすぎに気をつけてください。

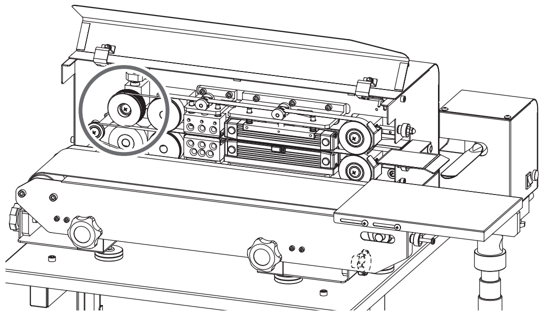
2 テーブルの製品背面側を持ち上げて（または下げて）、テーブルの角度を調整します。

3 テーブルの角度を調整、確定しましたら 1 で緩めたナット（4 箇所）を締めて確実に固定してください。


水平状態


傾斜状態

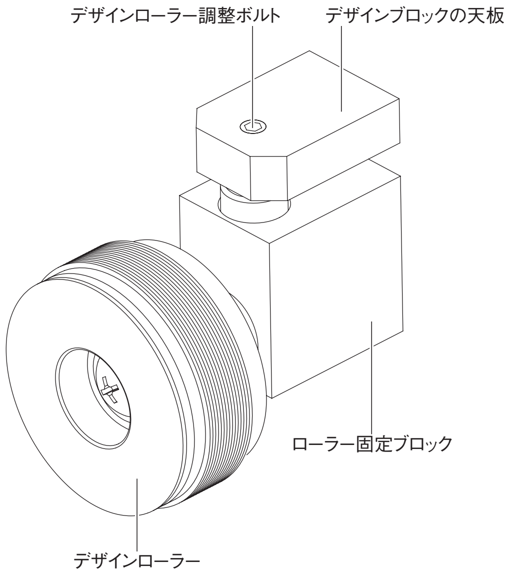
1-10-5 デザインローラーの調整



デザインローラーを交換した際にデザインローラーの圧力調整を行う必要があります。
デザインローラー調整ボルトを六角レンチで回して、デザインローラー調整ボルトとデザインブロック天板の上面が同一の高さになる状態を基準とし、±約 2mm の範囲内でデザインローラー調整ボルトの高さを調整してください。

- デザインローラー調整ボルトを締めるとデザインローラーのシール模様の現れ方がが強くなります。
- デザインローラー調整ボルトを緩めるとシール模様の現れ方が弱くなります。

注！ デザインローラー調整ボルトを締め込み過ぎるとベルト速度に悪影響を及ぼす可能性がありますので、前述の範囲内での調整を行ってください。

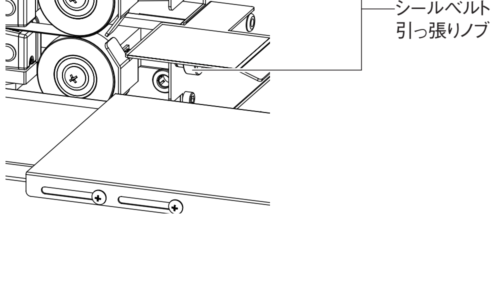


1-10-6 シールベルトの引っ張り強度の調整

シールベルトが滑ってきた場合は、シールベルトの引っ張り強度の調整を行ってください。

シールベルト引っ張りノブをシールベルトの滑りが無くなるまで上下のノブを交互に ¼ 回転ずつ右に回してください。

注！ シールベルトを引っ張りすぎるとシールベルト切れの原因になります。



2-8 プリンター；消耗部品の交換方法

日々の作業を安定して能率的に行うために、作業前・作業後のメンテナンス・早い時期の消耗部品の交換をお勧めいたします。

以下の「2-8 プリンター；消耗部品の交換方法」をよくお読みいただき、正しく作業を行ってください。

警告 消耗部品の交換やメンテナンスの時は、必ず電源プラグを手で持ってコンセントから抜いてから行ってください。プラグを差し込んだまま作業を行うと感電する危険性があります。

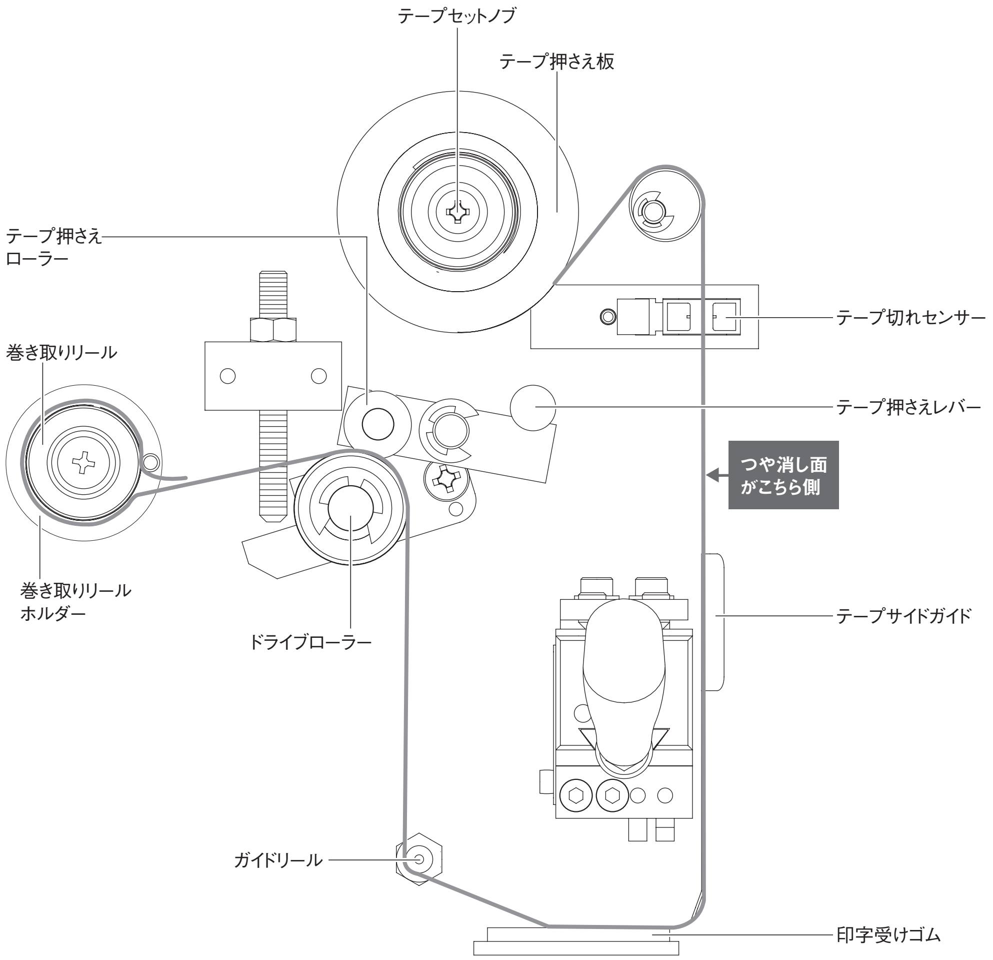
警告 取扱説明書に記載されている「消耗部品の交換方法」以外の間違った方法で交換すると機械が正常に働かないばかりか、感電や火傷をする危険性があります

警告 消耗部品は必ず弊社指定の部品をご使用ください。指定外の部品を使用されると製品の性能が正しく発揮できないだけでなく、故障の原因にもなります。

必ず電源プラグをコンセントから抜いて作業を行ってください

2-8-1　プリントテープの交換

⚠ 警告　プリントテープを交換する時はシーラーの電源をOFF にして活字など印字部が充分に冷えてから作業を行ってください。熱い状態のままで交換作業を行うと火傷をする危険性があります。



■ 使用済みテープを外す

1　巻取りリールホルダーを手前に引き抜き、使用済みテープを抜き取ってください。

2　テープ押さえレバーを押して使用済みテープを取り外してください。

3　テープセットノブを引いて使用済みテープを外してください。

■ 新しいテープをセットする

1　プリントテープはつや消しの面を表にしてください。

注！ つや消し面を逆にセットするとプリントが出来ません。

2　テープセットノブを引いて、テープの紙管がテープ押さえ板の突起部にはまるようにセットしてください。

3　前ページのプリンターの構造図イラストを参考に新しいプリントテープをセットしてください。

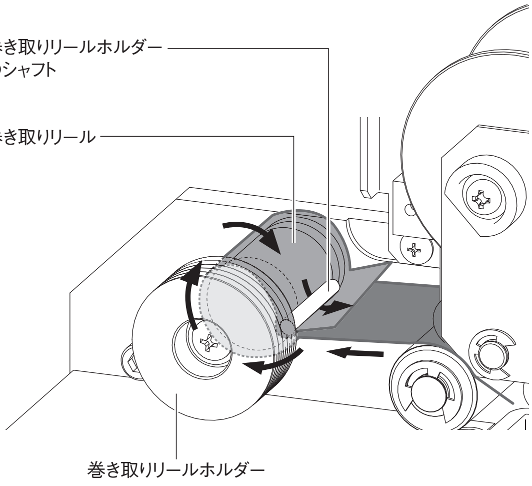
使用済みプリントテープは「巻き取りリール」に巻き取られます。

4　「巻き取りリールホルダー」をあらかじめ取り去っておきます。

5　右イラストを参考にしていただき、プリントテープの端を巻き取りリールにセットし、巻き取りリールホルダーのシャフトでプリントテープの端を押さえるように４で外した「巻き取りリールホルダー」を取り付けます。

6　巻き取りリールホルダーを時計回りに回して確実にプリントテープを「巻き取りリール」に固定させてください。

MEMO テープ押さえレバーを下に押すとプリントテープを引き出すことができます。

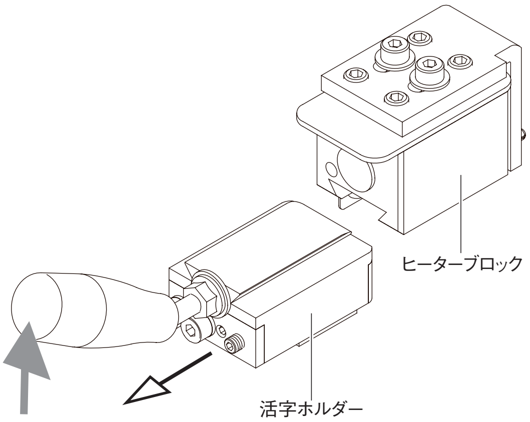


2-8-2 活字の交換

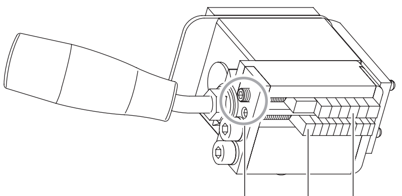
⚠ 警告 活字を交換する時はシーラーの電源を OFF にして活字など印字部が充分に冷えてから作業を行ってください。熱い状態のままで交換作業を行うと火傷をする危険性があります。

1 ヒーターブロックから活字ホルダーを引き出してください。

注！ 活字ホルダーは取手を持って、斜め上方向に少し持ち上げながら引き出してください。



2 活字ホルダーの活字押さえ用ネジを緩めると活字の着脱が可能になりますので活字を変更してください。



3 活字の変更（交換）が終わりましたら活字押さえ用ネジを締め直して固定してください。

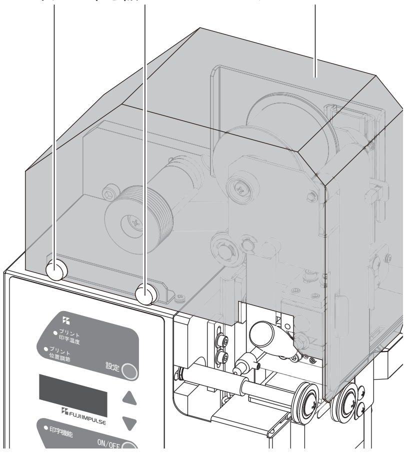
4 活字ホルダーをヒーターブロックに差し込んでください。

注！ 活字の列数を変更した場合は「2-9-2 プリントテープ送り量の調整」を行ってください。

2-9 プリンター；各部の調整方法

2-9-1 印字位置調整 - 縦方向

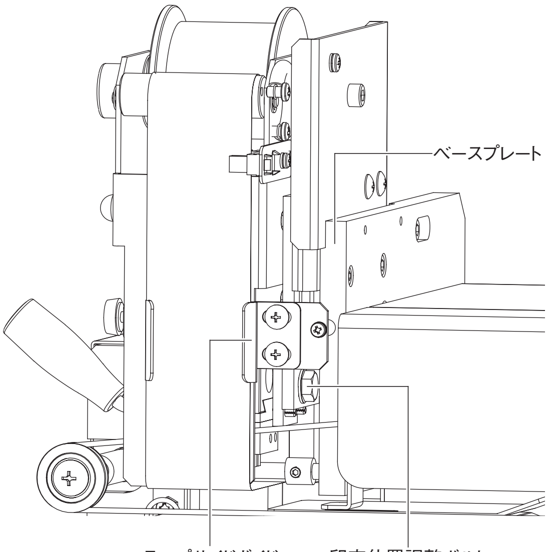
⚠ 警告 印字位置調整は活字など印字部が熱い状態のまま行う必要がありますので調整作業の際は印字部に触れないよう注意して行ってください。



1 プリントテープカバーを外してください。プリントテープカバーは２本のネジで固定されていますので緩めてからプリントテープカバーを外してください。

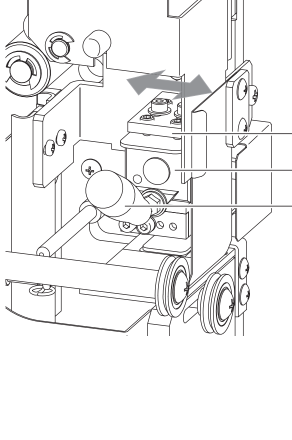
2 印字位置調整ボルトを緩めます。

注！ 印字位置調整ボルトはヒーターブロックの奥にあり「ベースプレート」と「テープサイドガイド」の隙間から見えます。



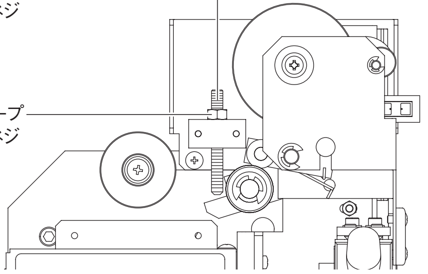
3 ヒーターブロック取付金具ごとヒーターブロックを前後させ位置を調整します。

4 調整が終了しましたら、印字位置調整ボルトを締めてヒーターブロックを固定します。



2-9-2　プリントテープ送り量の調整

⚠ 警告　プリントテープ送り量調整の前に、電源プラグを抜いてプリンターの印字部が充分に冷えてから、作業を行ってください。印字部が充分に冷えていないと火傷の危険性があります。

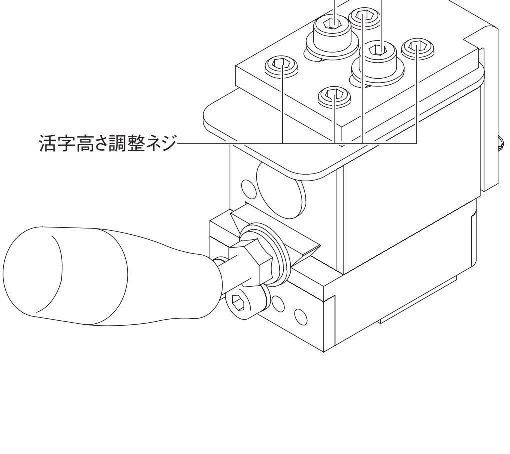


1　プリンター上部にあるプリントテープ送り調整ネジのナット部分を緩めます。
2　プリントテープ送り調整ネジを回して調整してください。
左に回すと送り量が増えます。
右に回すと送り量が減ります。
3　調整が終了しましたら、1で緩めたプリントテープ送り調整ネジのナット部分を締めて固定します。

2-9-3　活字高さの調整

⚠ 警告　活字高さ調整の前に、電源プラグを抜いてプリンターの印字部が充分に冷えてから、作業を行ってください。印字部が充分に冷えていないと火傷の危険性があります。

シールするフィルムの材質に応じて、印字部の高さを調整して活字の押しつける力を変えると美しい印字ができます。



1　ヒーターブロック取付金具上部のヒーターブロックを取り付けている2本のボルトを緩めます。
2　ヒーターブロック取付金具上部の4本の調整ネジを回して活字高さを調整します。
左に回すと印字が薄く、
右に回すと印字が濃くなります。

MEMO　調整ネジはベルトシーラーに附属している六角レンチ 3mm を使用して調整してください。

3　1で緩めたボルトを締めてヒーターブロックを固定します。